

1 宮の沢の現状

○地下鉄やバスの発着駅として多くの人が行き交う宮の沢ですが、地域住民が立ち寄りふれあい憩う場所が少ないことから、駅周辺に人の滞留が少なく、地域のにぎわいが乏しい現状があります。

○一方、宮の沢には年間約 70 万人もの集客を誇る「白い恋人パーク」が存在し、既に多くの観光客に注目されている恵まれた地域でもあります。

○「白い恋人パーク」の観光客の約半数は、その土地の食、ショッピング、文化に触れることが目的の外国人観光客ですが、惜しくも「白い恋人パーク」以外を訪れることは多くありません。



2 宮の沢の課題

○地下鉄やバスの発着駅としての利点を生かし、駅周辺を地域交流の拠点として、地域住民や観光客が滞留するにぎわいのあるまちにできないか。

○生涯学習施設「ちえりあ」周辺を、地域住民のふれあいや憩いの場として発展させることができないか

○外国人観光客が求める情報を発信するなど、宮の沢の食、ショッピング、文化に触れる観光客を増やすことができないか。

○訪れる観光客を宮の沢に滞留・滞在させ、地域のにぎわいに繋がることできないか。



3 まちづくり協議会の設置

○西区は、宮の沢の現状と課題を皆様と共有し、地域の活性化のための方法について一緒に考えていきたいと思っています。

○宮の沢地域は、コンサタウンふれあいフェスタが開催されるなど、各団体が連携し地域のまちづくりを実践する機運が高い地域です。

○各団体の皆様と協議・取組み・検討を行う組織として、新たにまちづくり協議会を立ち上げることにしました。

○名称は、宮の沢地域におけるまちづくりの組織であることを明確にするため、「宮の沢まちづくり協議会」としました。

4 まちづくり協議会の活動

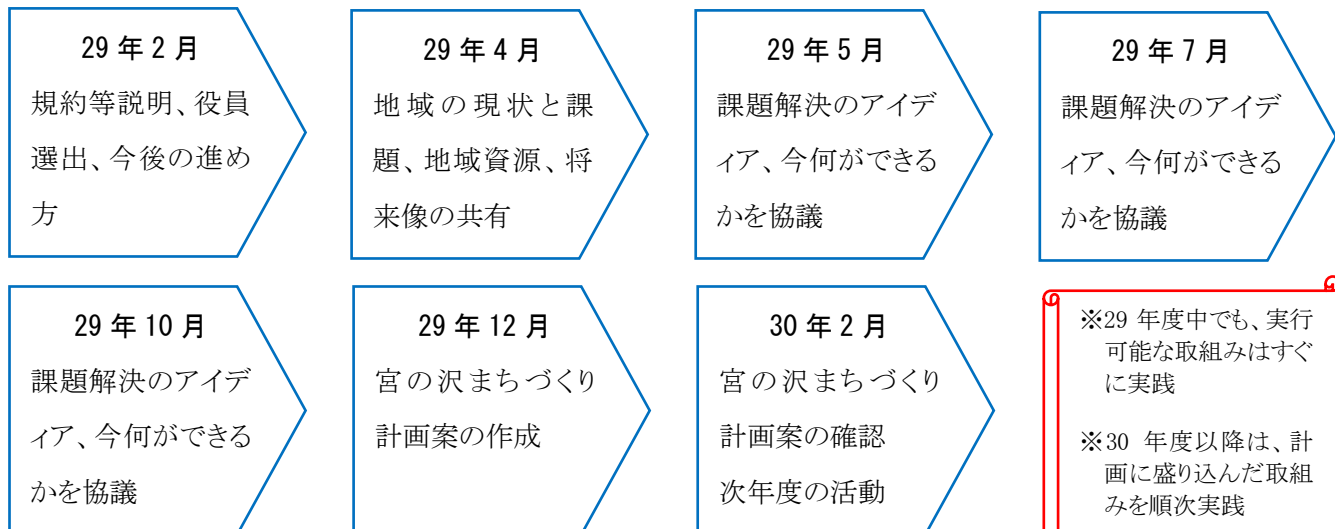
○各団体が宮の沢地域で行っているイベントの更なる充実や連携を図るほか、地域の活性化に繋がる新たな活動に取り組めます。

○宮の沢地域活性化に向け、地域のにぎわいに繋がる知恵や工夫を凝らした取組みを進めるための「(仮称) 宮の沢まちづくり計画」を策定します。

○この計画は、宮の沢の将来像、活性化のアイディア、各団体の活動や地域のイベント一覧、各団体が協力できる事例のほか、他の地域の先駆的な取組み事例などを盛り込み、地域及び行政が宮の沢の活性化に向けた将来的な認識を共有するために策定します。



5 まちづくり協議会スケジュール



6 宮の沢の将来像

○宮の沢が、地域のにぎわいと観光客へのおもてなしが融合する拠点として、将来的に『もっと人が集う活気あるまち』にしたいと考えています。

